



# ナマズの知恵袋

平成24年(2012年)7月1日  
編集・発行 滋賀県立図書館

## そうだ、辞書を引こう！

いま、辞書の編集に携わる人々を描いた小説、『舟を編む』（三浦しをん著）が人気を集めたり、百科事典の電子化をめぐる話題がとりあげられたりと、「辞書」の世界が注目されています。ひとつひとつの辞書には編集者の工夫やこだわりがあり、個性があります。様々な辞書を引き比べることで、その特徴が見えてきます。今回は、ことばを知るための「辞書」の世界を、国語辞典や古語辞典を中心にをご紹介します。

いろいろ  
あります  
国語辞典



### ● 引き比べてみよう！ その1

「イケメン」「どんびき」…？

日常的に耳にすることばは、身近な小型辞典で引き比べてみると、辞書によって載っていたり載っていなかったりと、違いがあることがわかります。ひとつの辞書に載っていないにもかかわらず、複数の辞書を引けば、見つかることがあります。

### ■『岩波国語辞典 第7版』西尾実ほか編 岩波書店 2009年[R-8131-ニ]

収録語数は約 65,000。編者の言葉によると、「この辞書が視野に収めるのは、(一時的流行ではない) 過去百年の言葉の群れである。」「十分安定したとはいいがたい新語(外来語を含めて)は採録しなかった。」とある。例えば「イケメン」や「どんびき」といった言葉は掲載されていない。

### ■『新明解国語辞典 第7版』山田忠雄ほか編 三省堂 2012年[R-8131-シ]

収録項目数は77,500。「編集方針」によると、「この辞典は現代の言語生活において最も普通に用いられる日本語について」適切、効果的に使用されるようにと編集された。例えば「イケメン」はこの辞書には掲載されている。

### ■『三省堂国語辞典 第6版』見坊豪紀[ほか]編 三省堂 2008年[R-8131-ケ]

見出し項目は約 65,000。「序文」によると、これは「収めることばの範囲は日常の生活用語を中核とし」、「現代日本語の姿を忠実に、また、全面的に反映した辞書」で、例えば、先の2つには掲載されていない「どんびき」ということばもこの辞書には掲載されている。『大きな活字の三省堂国語辞典』もある。

### ■『日本国語大辞典 第2版』

(全14巻) 小学館 2000年~2002年 [R-8131-1~14]

見出し語総数50万 用例総数100万を収録する大型辞典。「漢字索引」、「方言索引」などが掲載されている。10年にわたって400名近い人々の協力で編集された。用例の出典が明らかにされているので、ある語について、いつごろからどんな書物で用いられるかについて知りたいときに便利。

■『大言海 新編版』大槻文彦著 富山房 1982年[R-8131-オ] 約10万語を収録。明治24年に日本初の近代的国語辞典といわれる『言海』を編纂した大槻文彦の没後、現代の読者向けに仮名遣い等を改めて出版された。「序文」や「おくがき」には、「国語」や「辞書」についての想いが綴られている。

「百科事典」としても使える「中型辞典」なら・・・

■『広辞苑 第6版』新村出編 岩波書店 2008年[R-8131-イ] 現代語と百科項目を24万語収録する。『逆引き広辞苑』もある。 ■『大辞林 第3版』松村明編 2006年 三省堂 [R-8131-マ] 約23万8千項目を収録。約2,600の図版と約120の図表を掲載。 ■『大辞泉 増補・新装版』松村明監修 1998年 小学館[R-8131-タ] 約22万項目を収録。多色刷りでカラー写真が豊富。

### ● 引き比べてみよう！ その2

「全然」おいしい…？

この使い方は正しいか？誤りか？「全然」を「非常に」という意味で、是定表現として用いるのは「誤用」とするもの、「俗用」とするもの、など辞書によって違いがあります。『日本国語大辞典』(小学館)によると、坂口安吾が彼の作品の中で「全然エライ」という使い方をしているそうです。否定表現との結びつきが強まるのは大正末から昭和にかけてだったようです。もともとは両用できたので、誤りとはいえないようです。



## 古い「ことば」も辞書に収め

### ● 引き比べてみよう！その3

日本国語大辞典 VS. 角川古語大辞典  
通称「にっこく」と「古語大」。項目数では圧倒的に勝る「にっこく」ですが、「古語大」には意外とぴったりとくる語釈があるという支持者も多いようです。古語辞典の双璧を手に古典文学に挑戦してみませんか。

古いことばを調べるときは・・・

■ 『日本国語大辞典 第2版』(全14巻) 小学館 2000年～2002年 [R-8131-1～14] 古い日本語を調べるときも、やはりこの辞書がスタート。用例は執筆者が調査した最も古い例があげられている。

■ 『角川古語大辞典』(全5巻) 中村幸彦ほか編 角川書店 1982年～1999年 [RB-8136-1～5]

『日本国語大辞典』より項目数は少ないものの見過ごせない存在。語順は歴史的仮名遣いになっており、引き方には少し注意が必要となる。

■ 『小学館全文全訳古語辞典』北原保雄編 小学館 2004年 [R-8136-4] 学生時代にお世話になったおなじみのハンディな古語辞典。最近は用例に現代語訳がつけられた「全訳」のものが主流となっている。

### ● 引き比べてみよう！その4

「うつくし」は「かわいい」…?

枕草子に登場する「うつくしきもの」が「かわいいもの」と現代語訳されるように、時間の経過によってその意味が大きく変わったことばがあります。

『現代語から古語を引く辞典』芹生公男編 三省堂 2007年 [R-8136-7] ではその違いが確認できます。引き比べてみると新しい発見があるかもしれません。



ある時代に限ってことばを集めた時代別の古語辞典もあります！

### ■ 『時代別国語大辞典 上代編』

上代語辞典編集委員会編 三省堂 1983年 [R-8136-1]

上代に使われていた和語が網羅されており、万葉集や古事記・日本書紀の研究には欠かせない辞書となっている。

### ■ 『時代別国語大辞典 室町時代編』(全5巻) 三省堂 1983年～2001年 [R-8136-2]

中世語を調べるうえで必見の辞書。ことばの定着過程を考察するうえでも手がかりとなる。

### ■ 『邦訳日葡辞書』イエズス会 [編] 岩波書店 1993年 [2-8136-1]

17世紀にイエズス会宣教師によって編纂された辞書。布教のための日本語習得用の辞書らしく口語が中心で、当時の音韻体系を知るうえでも貴重な資料となっている。

### ■ 『江戸時代語辞典』 頼原退蔵著 角川学芸出版 2008年 [R-8102-1]

江戸時代を通じて様々な分野で使われた21,000以上のことばを収録し、江戸の文化を探るうえでの百科事典のはたらきももっている。

## 百科事典今昔

240年余り続いた、百科事典の代名詞『ブリタニカ百科事典』が電子版への完全移行を発表しました。日本でも平安中期の『倭名類聚抄』以降さまざまな百科事典が出ていますが、「Yahoo!百科事典」で小学館の『日本大百科全書(ニッポニカ)』をインターネットで検索できるなど、今後も書籍の電子化が進むと考えられます。

国立国会図書館の近代デジタルライブラリーで200種以上の百科事典をweb公開 <http://kindai.ndl.go.jp/>

■ 『倭名類聚抄』 自1巻至20巻 源順著 風間書房 1967年 [2-8132-1] 百科事典的性格を持つ初の辞書。934年初版。

■ 『人倫訓蒙図彙』 朝倉治彦校注 平凡社 1990年 [2-3843-7] 江戸期に作られた初の挿絵入り百科事典。1666年初版。

■ 『古事類苑』 全50巻 総目録・索引1巻 神宮庁編 吉川弘文館 1995年～1999年 [R-0810-1～51]

慶応3年以前の諸事項を30の部に分け、篇・條・項等の配列は、重要度や時代の順。

■ 『広文庫』 全20巻・索引 『群書索引』 全3巻 物集高見・物集高量共著 広文庫刊行会

1926～1927年 [2-081\*-3\*] 約5万項目を五十音順に配列し、関係文書を古今の書籍から抄出。

### ● もっと知りたい！「辞書」の世界

- \* 『新解さんの謎』 赤瀬川源平著 文藝春秋 1996年 [3-9146-7]
- \* 『広辞苑の中の掘り出し日本語』 永江朗著 バジリコ 2011年 [G-8131-9]
- \* 『博士と狂人 世界最高の辞書OEDの誕生秘話』 サイモン・ウィンチェスター著 早川書房 2006年 [G-NF-306]
- \* 『魯異の百科事典男』 A.Jジェイコブズ著 文藝春秋 2005年 [G-0330-2]
- \* 「ユリイカ」2012年3月号 特集：辞書の世界・・・などなど